

# 下越中学校体育大会

\* 数字は順位・敬称略

## 《陸上大会》

- 男子 -

▷200m

近 聖太（宮前・3年）記録 25秒34

▷3000m

須貝 惣太（高田・3年）記録 10分23秒48

▷110mH

近 聖太（宮前・3年）記録 16秒02

▷走幅跳

小池 俊（下関・3年）記録 6 m02cm

▷砲丸投

芝崎 宥太（湯沢・3年）記録 8 m99cm

- 女子 -

▷走高跳

山本 智夏（滝原・3年）記録 1 m35cm

田村 美樹（平内新・3年）記録 1 m30cm

～以上県大会に出場～

## 《各種大会》

▷バレーボール 県大会出場ならず

▷ソフトテニス 県大会出場ならず

▷剣道 県大会出場ならず

▷柔道 男子団体 県大会出場ならず

女子団体 県大会出場

男子個人

60kg級 阿部 岳晃（金丸・3年）

73kg級 加藤 裕一（鮎谷・3年）

～以上県大会出場～

50kg級 近 光（辰田新・2年）

女子個人

57kg級 長谷川夏帆（下関・3年）

63kg級 小池 陽菜（下関・1年）

70kg級 近 千穂（上関・3年）

～以上県大会出場～



村の水道は地下からくみ上げ、さらに高台の配水池にポンプを使って送り、皆様のご家庭などへお届けしていますが、この過程で多くの電力を使用しています。

また、トイレやお風呂、台所などで使った水は下水道を通して浄化センターへ流れていきますが、この下水の処理をするにも多くの電力を使用しています。

今年も夏本番を迎え、水の使用量が多くなってきていますが、使用電力のピーク時には電力需給のひっ迫が懸念されています。このように、水道事業においても多くの電力を使用しています。

各家庭での水の上手な使い方が大きな節電効果につながりますので、ご協力をお願いします。

## 「水の上手な使い方」にご協力ください

### 《用途別使用量の目安》

用途	使い方	使用量
洗面・手洗い	1分間流しっぱなしの場合	約12ℓ
歯みがき	30秒間流しっぱなしの場合	約6ℓ
食器洗い	5分間流しっぱなしの場合	約60ℓ
洗車	流しっぱなしの場合	約90ℓ
シャワー	3分間流しっぱなしの場合	約36ℓ



# 学校からのお知らせ

今月は関川小学校からの紹介

## 「学校支援事業」で 学校と地域が元気に！

関川小学校では今年度、学校支援員を中心に地域ボランティアを募り学校支援事業を開始しています。

6月29日、5年生が米作りを進めている学校田で指導員やボランティアの方と一緒に草取りを頑張りました。



7月5日、関川小学校に土沢地区のお年寄りをお招きして「地域の茶の間」を開催しました。お年寄りも子どもたちも和気あいあいと楽しそうに顔もほころんでいました。



## 準会員制度へのご理解とご協力 大変ありがとうございました

村で唯一の小学校である当校を関川村の皆さんの力で支えていただきたいという願いに基づき、昨年「PTA準会員制度」を始めました。今年度もPTA地域委員より集めていただいた会費を次のように有効活用させていただきたいと考えています。

写真を多く取り入れたPTA広報誌の充実  
PTA学年活動、親子活動の拡充  
地域活動費充実による子ども会行事の活性化  
全校地域探検活動ボランティアやスキー教室  
ボランティアの活動実費支出 等

おかげさまで今年は、昨年よりも多い1,448世帯の賛同をいただき、総額434,400円の準会費を集めさせていただきました。紙面をお借りして御礼申し上げます。今後も活動充実の様子をお知らせしていきます。



障害福祉の  
向上に貢献

本部久美子さん（南中）が（社）新潟県手をつなぐ育成会から表彰されました。本部さんは、村手をつなぐ育成会の副会長などを務め、会の活動と発展に貢献されたほか、地域活動支援センターさくら工房（上関）の指導員を務めるなど長年にわたり障害福祉の向上に貢献されました。本部さんは「これからも出来ることを精一杯頑張っていきたい」と話していました。



青少年健全  
育成に貢献

川又政男さん（鮎谷）が青少年健全育成功労者として新潟県知事から表彰されました。川又さんは、昭和51年から現在まで日曜日の早朝マラソン指導で延べ1450人の青少年を指導したほか、七ヶ谷郷体育協会会長を10年間務めるなど地域のスポーツ振興に尽力されました。川又さんは「体力の続く限り、子どもたちの指導にあたっていきたい」と話していました。



交通安全表彰

本間正良さん（安角）が交通安全功労者として新潟県知事から表彰されました。本間さんは村上地区交通安全協会関川支部の役員を務め、長年にわたり地域の交通安全活動に尽力されました。本間さんは「長年、地域の役員を務めてきましたが、交通事故が起きないように今後も地域の交通安全に力を入れて活動していきたい」と話していました。